2018.3/**No.108号**





12 月第4回定例会 平成29年度補正予算などを審議

☆平成 29 年度一般会計 1,300 万円の追加

☆一般質問 2人の議員が登壇

☆総務振興常任委員会行政視察

P 2

P 3~ 4

P 5





【12月】

13日~15日

広域行政事務組合議会定例会

総務振興常任委員会

【1月】

17日 議会全員協議会

【2月】

14日 教育住民常任委員会

総務振興常任委員会

県町村議長会定期総会 26 日 議会運営委員会

【3月予定】

議会全員協議会

水俣•芦北地域振興財団理事会

議会運営委員会

たものの、

30年前に整備され

機構改革概要(案)

1月17日、平成30年4月1日 からの施行に向けて作業が進め られている、役場機構改革の現 況について担当課である総務課 から説明を受けた。

『時代にあった効率的で戦術 的な組織構築を行うために、班 会と、特別職・管理職を中心とす る機構改革幹事会で協議した。

その結果を基に、現在の人事、 給与、財政などの条件を総務課 おいて再度検討を加え、5項 目の機構改革にあたっての基本 指針を軸に、新しい組織(案)を 作成している。』との説明だっ



蠣小屋。 不知火海を眺めなが

ら旧平国小学校に開設した牡 津奈木漁協が、1月6日か 表紙の写真 かったと言われるように私 水俣・芦北地域に住んでよ

と言うことで集大成として のため頑張り所だと思う。 俣までの高速道路開通が, **弗6次水俣・芦北地域振興** 思を出し合い県南地域発展 不町としても通過点になら 豆画も平成32年度で終わる 市2町で知

春の足音が聞こえて来る



屋外用の 防災無線を設置すべきでは

知恵子 議員

達は、

市町村長の責務で

光チャンネル、

地元消防

アメール、ホームページ、

は有線放送と携帯のエリ ある。災害に関する情報

法は対応できていない。 している方々への伝達方設や学校、屋外で作業を ている。しかし、観光施団の巡回で住民へ伝達し するように促しており、 国は防災行政無線を設置

教育、

生活、

保護者に対

網を定め、

答

定め、県の計画でも、困対策に関する大法律では、子供の貧

する就労、

経済的支援を

基本の柱として施策

水を掲

げている。

県の計

設置すべきでは 算できれば検討したい。ついて、平成30年度に試

段としての防災無線を設置

高発生時に即避難を促す手

対策の取り組っ子供の貧困調査-

みと

は

要な対策を取りたい

の工事費である。その後、のL型擁壁を施した概算るため、道路路肩に大型

道路幅を4m確保す

の事業費6千万円

平成27年6月時点で

地域住民の意見を考慮し、

問

は行っているが、

本町は、予防的避難

拡声器を設置すべきではな 外拡声器や路上設置型屋外 していない。屋上設置型屋

取り組むべきではないか。 護者に調査を行い、対策を 分析を進めている。 握のため、全小中学生と保 も、子供の貧困の有無の把 済的困難が衣・食・住に影 家庭が14・8%に上り、経 質を切り詰めた経験がある 中学2年生とその保 護者に子供の貧困の実態調 しているのではないかと 本町で

問

工事の内容と工事費

若しくは警報の伝

災害に関する予報

かの対策もあるがいかが

浸水時の町道白ケ浦支線

を進めている。県が行っ機関と連携して取り組みづき、町なども含め関係 た調査結果は、 ので、その結果を見て必 に各市町村に提供される 来年3月

工事は最良か白ヶ浦支線道路改良

あの防護柵費用を追加し と水路側面の復旧費用、 と水路側面の復旧費用、 と水路側面の復旧費用、

改良工事が最良なのか。 の増加が予想されるがこの 高速道路の開通で排水量 の変更の内訳は。

と試算している。

延長470mで8千万円

た内容で、

全体事業費は、

は考えていない。
にあの対策
にる。工事内 **プを**」についての質問 **地再生に補助金アッ** その他、「**耕作放棄** に要望している。に別ルートで流れ は増加予想だが、 高速道路開通で水の量 トで流れるよう 国交省

12月議会定例会 12月13日※~15日金

1,300万円 を増額 一般会計補正予算 平成29年度

> 30億5,010万円 lE

> > 内容は。

上してあるが、

この事業

美術館の4カ所にWi

答 津奈木駅・グリー

人委託料の内容は。

金に100万円計

栁迫好則議員

平成29年第4回定例会が、12月13日から15日までの3日間開催されました。 本定例会では、平成29年度補正予算、人事案件および一般職の職員の給与条例の 改正など12議案を審議しました。

また、議員発議により「道路事業予算の総額確保等に関する意見書」を関係機関に 提出しました。

限5万円を補助する補助

加を図っていきたい

施工する場合に限り、上

築する場合、

町内業者が

答の移住者で家を新

備を行い、観光においで

いる。国や県にも交渉を急に修繕するよう考えて

ているが、できるだけ早補助金が減額され危惧し

できるだけ早

iが接続できるよう整

用して頂き、観光客の増になった方にSNSを活

金である。今回新たに2

件分追加したものである。

問

うち1基のモーター クーリングタワー2基の 補助金23万円の内容は。 問 冷凍施設改善等事業 7 水産業振興費の負橋口知恵子議員 担金および交付金 およ

を平成30年度までに完了橋があり橋梁点検

明を求める。 橋の工事が変更になり歳が大幅に減額されて染竹 ているが、この関連の説 人の補助金も減額になっ 費で、工事請負費者の橋梁維持の標子議員

数が増えているのか。 問

国民健康保険特別会計 補正予算(第2号)

高額療養費にかかられる方 **|されているが、** 対象人数は詳しくは 把握していないが、 高額療養費が増額 橋口知恵子議員 ための予算計上である。分の1を町から補助するかえ費用の8万千円の3

W

問

一般会計補正予算(第4号)







観光施設などフ

寺本信介議員

が下がったため染竹橋長 年度は20橋の点検と工事しなければならない。本 国からの交付金の内示率

替えを行っている。今回託料を追加し、予算の組 くなった。 寿命化修繕工事ができな 託料を追加し、予算の組新たに42の橋梁点検委 画していたが、

つなぎ議会だより 2018.3 | 2

総務振興常任委員会 " 愛媛県 " 行政視察レポート

『日本一のアボカド産地づくり』

を立ち上げ、高品質なもの

資源ごとにクラスター会議 町産業の柱となりうる地域

取り組みを行っている。今

スを同時多発的に生み出す づくりを基本としたビジネ

カドの実証栽培に必要な設 ている農建連携によるアボ 回は平成28年度から実施し

松山市農業指導センター 11月13日~11月15日

産業」

を確立するため、

本町では、「小さくて強

地域おこし協力隊 その後の取り組みは!

や県の移住定住ポータルサ

来場された協力隊の希望者 **示してもらい、今後の進展** と面談、数名の方が興味を に期待をしている。 よび移住定住フェアに参加 他に、 情報発信を行った。 の移住定住相談会お 9月と11月に東京で 町のホームページ

している。 の方については、書類審査 行っている。11月末の応募 ても、引き続き情報発信を ポータルサイトなどにおい 運営する地域おこし協力隊 イト、移住交流推進機構が 月に面接を予定

> 拡大とブランド化業務 生かせる業務を行っても 務の中で、 ⑥ つなぎファ とした農産物などの販路 である住民参加型アー 小さくて強い産業づく グリーンゲイトを中心 ロジェクトの推進業務 美術館のサポー

終了後も津奈木町に定住 未満で、三大都市圏を初 できる方、 コミュニケー めとする都市地域に在住 であったが、この要件は いう意欲をもっている方 している方、 対象は、 積極的に地域活動が 起業・就業しようと 協力隊の活動 20歳以上50歳 地域住民と ションがと

および情報発信業務 情報配信サイトの管理

取り組み状況は地域おこし協力隊

ത

隊員の特性を ム推進業

現在も変わらないのか。

答

としては、地方都市からで設定してあるが、本町 でもよいと考えている。 圏から人口が少ない地方 が集中している三大都市 いということでこの要件 の移住がバランスがい 政策としては、 近辺からの移住

取り組みを伺いたい

問

の4月以降の募集 地域おこし協力隊

を受けたいという思いるが、外からのよい刺激ないのではないかと考え 部分が多いために、応募 の件数は他町に比べて少 組んでいきたい。 今後もこの要件で取

災専門員 配置 のの 画は

問る。 どの外部人材の確保を図 「地域防災マネ

募集要件は

移住定住コ

の移住、 本町の要件は専門的な

用

し条件である。ただ、 募集要件は、今も同

り組みを願っている。今後 が、危機管理の充実を図る 県から届いていると思う ジャー」制度の活用依頼が の町の方針を伺いたい。 には重要であり積極的な取

提に、平成27年度に内閣 府が新設した。 害対策の対応に従事する 人材を確保することを前 本大震災を受けて、 ジ ジ セ マ 域 制度は、 災マ 災

ため、 持っている職員がいるこ て対応している状態であ 住民課が、担当を分散し マネージャ した組織を持っていない本町は危機管理の独立 有事の際は地域防災 総務課、振興課、 大変心強いと思う ーの資格を

防災の専門性を有す 自衛隊や消防な

度からアボカド栽培の取組 留まり、松山の気候に合う 農園で20年ほど前、露地に で試験栽培が始まった。 ら指導センターのハウス内 みが始まり、平成21年度か 記念樹として植えてあった 大きなアボカドの木に目が センターのアボカドに対 平成20年

のではないかと、

の栽培指導もさることなが する役割としては、現地で

ら苗木の育成、

分類を行っ

なくなるようにと進めてき が年間を通しての手持ちが 異なるため、 る。他の果樹と収穫時期が 組んでいるのがライムであ 有望果樹品種で他に取り 果樹農家の方

「日本一のアボカド産地づ 生産状況を研修するため 備、苗木生産システム構築、

年間で8千本以上も苗木の

平成21年度から7

額は市場平均の10分の1の

販売実績があり、

松山市農業指導セ

平成25年度からブランド

始まり、近年では生産者も70 円だそうで、平成29年度は収 販売価格はKg当たり1千 戸で収穫1t見込んでおり

玄関前

が縮小しつつあった時代

穫を2t見込んでいる。

10年ほど前、

柑橘類関係

協力を依頼して「松山市生産 促進につなげていくという。 販売協議会」を設立し、 るため、本年度より 今後は生産量が増えてく JAにも

あった。そんな折、

近くの

ないか模索していた時期で

などで次につながる作物が

また、耕作放棄地対策



する時は、 栽培はかなり難しいと今回 ことを望んでいる。 アボカドは自然受粉で非常 の研修で感じた。そして、 ぜならば、アボカドの露地 ことが必須と思われる。な に対する補助金を創設する 後事業実施者の募集を開始 組みが始まっているが、 カドのハウス栽培での取り に確率が低い果樹と聞いた 本町でも本年度よりアボ ぜひとも収穫ができる ハウス栽培など 今

ため、 及んできている状況にある などから耕作放棄地が増加 りに取り組んでいくよう実 者の募集も行い、特産品づく 実証栽培開始と同時に耕作 害に強い農作物を選定して、 による担い手不足、鳥獣被害 して、優良農地まで被害が また、本町でも、 対策として、 鳥獣被 高齢化

5 つなぎ議会だより 2018.3